

■ 令和4年度 第5回 秋葉区自治協議会

日時：令和4年8月26日（金）午後1時30分

会場：金津地区コミュニティセンター

1 金津コミュニティ協議会あいさつ

（金子会長）

皆様、こんにちは。大変お疲れさまです。本日は、こんなきれいな立派な施設で自治協議会の本会議を開かせていただけますこと、青木会長ありがとうございます。何だかいつもよりも早めに皆さん集まってくるような気がしたのですけれども、そわそわして早めにおうちを出てしまわれたのでしょうかね。今日、冒頭またごあいさついただくわけですが、その前に金津コミュニティ協議会の青木会長からごあいさつとあわせて、この地区のご紹介をまずお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

（青木委員）

皆さんこんにちは。第2部会の金津コミュニティ協議会の青木と申します。

また、今ほど冒頭に会長のほうからきれいだということでおほめの言葉を頂きました。これはうちの職員が余人をもって代えがたいようなすばらしい職員なのですよね。見て分かるとおり、自分のうち以上にものを大切にということで、使う人の気持ちになって手入れしてくれるおかげなのです。本当にありがとうございました。会長の言われることをまた職員に話しして、よろこぶと思います。ありがとうございました。

今日、こんな遠いところに皆さんからお集まりいただきまして、ありがとうございました。金津コミュニティ協議会で、ここでこのような会議を催されることは、平成29年11月、それから5年たちました。そういうことで、多分、今日、来られている中でコミュニティ協議会に初めて来られた方もけっこうおられると思います。そんな関係で金津コミュニティ協議会の概要につきまして、説明したいと思います。本当ですとパワポ、動画を用いまして説明する予定で準備していたのですが、担当の方が、急に体調不良でできなくなったため、やむなく急遽、私が口頭で説明いたします。

まず第1番目に、金津コミュニティ協議会の設立の経緯、活動の状況について簡単に申し上げます。金津コミュニティ協議会は、明治35年に中蒲原郡金津村というのが組織されました。その後、皆さんご承知のとおり、小合、新関、金津が一緒になりまして、昭和30年に新津市と合併、新津市になりました。その後、平成17年にご承知のとおり、新潟市に吸収となりました。そんな変遷を経まして、平成17年にこのコミュニ

ティ協議会が設立され、今年で 17 年になりました。ちょうど高校 2、3 年生くらいでしょうか。そんな年代を向かえたのが金津のコミュニティ協議会でございます。

金津コミュニティ協議会は、今、申し上げましたように 17 年たっておりまして、この面積なり、大きさでいいますと、南北で 5.9 キロ、東西で 4.1 キロ、面積が 17.6 ということで、このわずかな面積のところに 11 の自治会・町内会をもって組織しております。世帯数が 7 月末現在で 2,962 世帯、人口が 6,927 名、約 3,000 世帯、7,000 名の方がここに住んでおられます。この方々の快適で、安全・安心な生活を守ると。そして、強い絆、災害に強い郷土を作ろうということで、コミュニティ協議会の中に六つの部、それと地区社会福祉協議会ということで、70 名の役員の方が日々、活動しておられます。

今年のコミュニティ協議会の活動はといいますと、先ほど申しましたように、地域住民の快適な生活を守り、そして声なき声を吸収して、地域の住民の期待と信頼にこたえと。こういう目的を持ちまして、我が郷土さわやかに一声かけ、笑顔ではぐくむ長寿への願いと、これをスローガンにいたしまして、現在、3 つの大きい事業に取り組んでおります。その 1 つが防災・防犯の事業です。意識の向上。2 つ目が、移住モデル。これと連携いたしました情報発信。3 番目が高齢者、あるいは児童の見守り。それと昨年からやっております学校運営協議と連携いたしました青少年の健全育成。この取組みをメインとして、現在、やっております。

続きまして、金津地域の特色でございます。もうすでに皆さんご承知の方もおられると思うのですが、ここは歩いていける距離、範囲で、国の史跡指定が 3 つ。それと植物園、美術館、埋蔵文化センターなど、本当に新潟市の文化芸術の中心と言っても過言でない施設があります。また、その施設以上に、ほかの地域では見られない、本当に人情味あふれる強い絆、観光資源、それと緑豊かな山林。これが金津の特色でございます。

時間の関係もございますので、以後は代表的な観光の名所を 3 点ほどご紹介したいと思います。まず 1 点目が、先ほど申しましたように、石油に関する国の史跡指定でございます。これは大正から昭和初期にかけて、石油の産出量は、新津油田全国一と聞いております。ただ、もちろん今は、平成 8 年で終わって何もありませんけれども、この石油に関する史跡がコンパクトでかつ確実に保存されています。これは全国広しと言えども金津しかないのだそうです。そんな関係で平成 30 年に国の史跡指定になりました。これを見るために県内はもちろん、外国からもいろいろな人が来ておられます。これが 1 つ目でございます。

2 点目が、白玉の滝と中野邸記念館のもみじ園でございます。白玉の滝は、毎年 1 月

10日、雪の降る寒いときに滝に打たれます。これがめずらしいと言いましょか、そんな関係で今、テレビで全国放映されております。外国人も含めまして、滝に打たれに来る方がけっこうおられます。これは今、新潟県の極端に言う冬観光名物というように取り扱われております。

それから中野邸記念館のもみじ園でございます。ここは、1万2,000坪の敷地に約140種2,000本のもみじが植えられておりまして、秋のもみじ祭り、このときになりますと県内はもちろん、関西、関東、いろいろなところから見に来ていただいております。

3番目の代表で言いますと、ここから歩いて10分のところにあるのですけれども、八幡山の遺跡、古墳でございます。遺跡につきましては、標高50メートルのところがございます、古墳は60メートルということで、県内でも一番大きいと。そんなところがここにあります。時間の関係で、この程度で終わらせていただきますけれども、私のつたない説明を聞いていただきありがとうございます。なお、詳細につきましては、金津コミュニティ協議会のホームページに載っておりますので、そちらのほうを見たいと思います。ありがとうございます。以上でございます。

(金子会長)

青木委員、本当に圧倒されるようなすばらしいご紹介をありがとうございました。お世辞でも何でもなく、秋葉区が誇る、新潟が誇ると言ってもいいかもしれません。さまざまな地域資源を有する金津地区ということで、何よりも驚いたのが、役員70人とおっしゃいましたね。70人ということは、人口の1パーセント。その地域で言えば大企業ということになりますよね。そういう大企業が公的なこういう組織で活躍をされているということは、ものすごい住民力だなと思いました。金津コミュニティ協議会はさまざまな取組みを精力的にされていて、一つのコミュニティ協議会の経営モデルと言ってもいいのではないかと感じます。その辺の地域経営の話というのが今、私が秋葉の自治協議会を代表して出させていただいている総合計画の審議会でも、私のほうから意見を出させていただいているのですけれども、これからコミュニティというのは、ただつなぐだけではなくて、コミュニティ自体が経営感覚を持って、将来像を見据えながら、いろいろなことを工夫しながらつなげてやっていかなければいけないということが、多分肝になってくると思うのです。その辺のところもぜひ先駆者として、また引き続き、がんばっていただきたいと思います。ありがとうございます。

2 開会

(金子会長)

それでは、本日の開会のあいさつを第3部会の坂口委員からお願いしたいと思います。

よろしく申し上げます。

(坂口委員)

皆さんこんにちは。阿賀浦コミュニティ協議会の坂口です。

今、立派なごあいさつを頂きましたので、私の言うこともそんなにはないのですが、金津コミュニティ協議会のこの場所は、私も1回、今年のひな・お宝のところでここを見せていただいて、あそこに飾ってあるものを見せていただいて、こういう飾り方もいいなということで感心しました。

そこで1回目に来たのですが、2回目は今年の春に八幡山ですね。ちょうどそこのお寺のわきの道をずっと行きますと、頂上まで八幡山に届くのです。その上から、新潟のほうをずっと見ますとすごく眺望がよくて、ああいいところだなと、私も感心しました。私も、そういうところに住んでみたいのですが、地元は別なところで、別荘も持たないので、ちょくちょく来ようかなと思っております。

最近、いろいろな報道を耳にします。今朝、新潟日報の新聞で、新津第一小学校の歴史の紙芝居の記事が載っておりました。来年創立150周年を迎えるそうなのです。その記事が載ってまして、ああそうかということで、150周年つながりで今年、春夏の甲子園がありましたけれども、ちょうど100回目を超えまして101回目に当たるみたいなのです。そこで初めて東北勢が白川の関を優勝旗が超えたという話題がありました。そんな話がある一方で、また世界的に見ますとロシアのウクライナ侵攻がまだずっと続いている状態です。そして、国内でも、自然災害を見ますと、これまでにない、経験したことのない大雨とか、いろいろな報道がされてきています。また、先月ありました、政治経済の問題など、暗殺事件とか、世の中が物騒になっています。新潟県内でも、コロナの第7波で医療機関の負担が増えているというようなお話があって、8月末まで、これは延長するかどうか今、検討中らしいのですが、BA.5の対策強化宣言を今、新潟県で発令中です。こんなことを聞いていますと、一体、将来どうなるのかなと不安になるようなことも覚えています。

未来を知る第一歩は、過去を知ることだとよく言われます。物事には、すべて始まりがあって、歴史があって、未来につながっていくのだらうと。過去をよく知ること、未来を確かなものにして生きていく知恵が必要なのではないかと思います。そんなことを思いながら、自治協議会の活動と所属する第3部会、コミュニティ協議会活動を通して、秋葉区の区づくりやまちづくりに参加していこうと思っております。

恥ずかしい話ですが、1年前に自治協議会に参加させていただいたときには、何をやるのかよく分かりませんでした。それこそ、ひな・お宝巡りのところに参加させていた

だいたときに、その説明会のところで自治協議会は何をしているのですかというような質問が出ました。皆さんからこんな質問がありましたが、私もこれと同じレベルで活動しておりました。しかし、活動を通して、先ほど青木会長からも話がありました。平成17年の自治協議会で新潟市の平成の大合併を経て、8区を主体としたまちづくりとして、住民と区をつなぐ協働の要と位置づけ、それと平成19年の政令市の以降と同時に市長の附属機関として設立されたと。

それから、私が所属する第3部会では、男女共同参画、教育、文化、スポーツを所管する部署、部会として、今、活動しております。具体的には、昨年度、自治協議会が初めて行いました幸福度調査がありました。秋葉区の文化施設に行ったことがある人は92パーセントもいたのですが、知識や興味や能力を伸ばす機会が整っているかというようなことについては、33パーセントの方しかそういうものを認めていないという回答がありました。第3部会は今年度、秋葉区をもっと知る機会を設けるために、秋葉区のルーツと歴史を学ぶ機会を計画しております。ルーツの企画としては、これも山の手コミュニティ協議会のほうになると思うのですが、菩提寺山のトレッキングを11月13日に開催します。参加者には、秋葉区の自然など、そういうものに触れていただきたいと思っています。

また、秋葉区の歴史に触れてもらう企画として、だれもが教科書でよく知っていると思うのですが、戊辰戦争。これが身近なこの秋葉区にあったことを知ってもらう講座。これを開催する予定です。秋葉区における戊辰戦争のタイトルで、10月16日に本田富義氏を講師にお招きして開催いたします。ぜひ多くの人に秋葉区の起源とか、歴史に触れていただいて、秋葉区の魅力を感じてもらえれば、そういう機会になればいいなと思っています。

それと最後になりますが、阿賀浦コミュニティ協議会の活動もあわせて紹介させていただければと思っています。昨年度ですが、地域の歴史を紹介した折に、史跡を巡りながら、いつも通っているこんなところに史跡があるなんて知らなかったから、もっと広報したらいいのではないかという意見がありました。これを受けまして、今年度ですが、安吾ワールドプロジェクトというプロジェクトを展開しています。新潟市、安吾の会と風の館、地元の工務店、それからFMにいつからの協賛を受けて、今年度、坂口安吾と坂口家を学ぶ講座を企画しました。定員40名のところでしたが71名からのご応募を受けております。現在、展開中です。

それから、これからになりますけれども、坂口安吾の生誕月に合わせまして、10月9日に、芥川賞作家で慶應義塾大学の名誉教授でもある荻野アンナ氏による講演会を予定

しています。テーマは「安吾あんな話こんな話」です。皆さんのお手元に今日配付させていただきました。この広告になります。チラシになりますので、ぜひ皆さんにもご参加いただければなと思っています。

それに加えて、JR東の今月の月刊誌で、新潟に眠る宝の山というのが載っていました。この月刊誌ですけれども、この中に石油王中野貫一の野望と題しました記事が載っています。この中に、ここの地元中野邸が載っています。そして、中野邸のお庭と坂口さんとの関係もここで皆さんにお伝えしたいと思います。中野邸は写真集を出しているのです。坂口安吾の息子さんで坂口綱男さんという方がいます。新潟の風の館の館長をされている方なのですが、その写真家が写真集を出してしまして、その写真集のタイトルが「Le temps arrete」というのでしょうか。フランス語で静止した時間というそうなのですが、その写真集を出しているのです。このタイトルを今回、講演会に講師としてお招きする荻野アンナさんがタイトルを書かれたということで情報がありますので、皆さんにも知っておいていただければと思います。

秋葉区では、ほかにもさまざまな活動が展開されています。私自身、自治協議会の活動やコミュニティ協議会の活動に参加して初めて知ることもたくさんありました。これからはいろいろなところで区の魅力に触れたり、それを今度、発信できればいいかなと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

(金子会長)

坂口委員、本当に丁寧にごあいさつをご用意いただきまして、ありがとうございます。興味深い情報もたくさん盛り込んでいただきましたが、こんないい講演会を開かれるのですね。ぜひ皆さんもご都合つけてお出かけいただければと思います。

ただいまから議事に入ってまいりたいと思います。最初に取材協力ですが、本日も新潟日報とFMにいつから依頼を頂いておりますが、写真撮影・録画・録音など許可してよろしいかお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。

ありがとうございます。異議ないようですので、許可することにいたします。

3 議事

(1) 新潟市国民保護協議会委員の推薦について

(金子会長)

では、次第に基づきまして会議を進めさせていただきます。

本日は議題が1つだけなのです。むしろ本日の重要な案件はこの後に開かれる区づくり予算の編成に向けたワークショップということになるわけですけれども、まず大事な

1つの議題を本日は、皆様からご審議いただきたいと思います。

次第（1）「新潟市国民保護協議会委員の推薦について」ということで、私のほうから説明させていただきます。資料1をご覧ください。こういう形で中原市長から推薦の依頼を頂いているところです。こちらの役職ですが、変則的で9月1日から任期が始まるということで、ここまでは任期途中からということになりましたけれども、須藤委員からお務めを頂いていたところです。それがまた任期更新の時期に来ているということで、このように依頼が来ております。

別紙1はこういったフォームで回答するというので別紙2と2枚つづられております。ご参考までです。また、ご参考までで、6月29日現在の新潟市国民保護協議会委員の名簿が添付してあります。こちらもざっとご覧ください。

皆様、国民保護協議会委員はどういうものか、覚えていらっしゃるかと思いますけれども、そちらのほうの国民保護法というものがあまして、その抜粋が名簿の裏に突いておりまして、簡単に言いますと、いわゆる有事の際というものです。今、世界情勢が不安定化を増しているというところなのですけれども、ますますこういったところに備えるというところがこの地域社会においても非常に重要なものになってきているのかと思います。武力攻撃事態等における国民の保護という意味で、国民保護協議会という名前になっております。

条例のほうも、このようになっていますということで、添付されてあります。条例に附随した指針がその次につけられています。こちらも抜粋でご紹介してあります。

なお、附属機関等への女性委員の登用推進についてということで、いわゆるジェンダーバランスというところに配慮した人選をとるところが、中原市長から議長の肩書きになっていますね。中原議長からこういう形で来ております。ということで、この人選を本日、お諮りしたいということなのですけれども、須藤委員からは、継続で差し支えないということをおっしゃっていただいておりますが、いかがでしょうか。そのまま再任していただくということで、皆さんご異議ございませんでしょうか。

ありがとうございます。では、ご異議ないようですので、須藤委員、引き続きお願いいたします。

以上となりますが、何か今の点についてご質問などございますか。よろしいですか。いいでしょうか。よろしいかと思いますが。

（2）その他

（金子会長）

次に次第（2）「その他」に入ってまいりたいと思います。各部会からの活動報告と

ということで、第1部会から順番に広報部会まで、まずは一回りご報告いただければと思います。最初に第1部会横山部会長、お願いします。

(横山委員)

皆さんこんにちは。

第1部会できらめきサポートプロジェクトに採択されました4つの案件についてですが、ドタミファソラシ堂の「アキバフジンロックフェスティバル～ミモザパーティ～」、あきは害獣対策プロジェクトの「クマ・イノシシなどの大型獣から命を守る安心安全なまちづくり」、新津中央コミュニティ協議会の「秋葉地区周辺案内地図設置事業」については、現在事業に向けて会議が行われているということをご報告させていただきます。一般社団法人新津青年会議所の「ぎゅっももっどずっと秋葉区フォトコンテスト『わたしのすきな秋葉区』」につきましても、現在、8月いっぱいまで募集中ということで動いているところです。また、各コミュニティ協議会の皆様には、展示方法など、またご相談、ご連絡があるかと思えますけれども、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。案内が遅れて不手際があったことをこの場を借りてお詫びさせていただきます。何卒ご理解とご協力をいただきまして、いい事業にしたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

(金子会長)

横山部会長、ありがとうございます。

続いて、第2部会蓮沼部会長お願いします。

(蓮沼委員)

第2部会では、公共交通利用促進事業、それから防災関係と、今、大きく2つ取り組んでおります。最初の公共交通利用促進につきましても、満日地区をモデルとして、生活交通支援に取り組んでいる最中です。この7月、8月につきましても、社会福祉協議会の坂井委員から満日地区と生活交通支援の進め方についていろいろ議論を重ねていただきました。現在、8月までに満日地区のほうでこの生活交通支援を望む方を募るということで、今、対象者、希望者を集めているところです。それが集まり次第、今度は地域の社会福祉施設とともに、具体的に実施に向けた協議を重ねていくというところまで今、来ております。

それから、防災関係につきましても、まず防災講演会ですけれども、10月15日に土砂災害のことに關して防災講演会をやるということになりました。それともう1つが、以前、防災手帳というものを発行しているのですけれども、第2部会のほうでは小学生、中学生向けの手帳を作ろうということで、今、サンプルができあがりました。これをこ

れからまた部のほうで内容を議論しまして、また、できましたら皆さんのほうにお配りしたいということで、9月中くらいには何とかできるのではないかとこのころまで来ております。

防災講演会の詳細については、第2部会の青木さんに主体でやっていただきましたので、内容の概要を説明していただきたいと思います。お願いします。

(青木委員)

命によりまして、今、言われた防災の講演会につきまして、皆さんに説明方々、またご理解とご協力を頂きたいと思います。この目的は何かといいますと、ご承知のとおり、最近、非常に予測不可能な異常気象、あるいは予測できたとしても防ぐことができない、これが自然災害でございます。特に今年8月3日、4日、記憶に新しい関川村、あるいは村上に甚大な被害が発生しました。これも幸いにして亡くなった方はおられない。けが人の方も1人、もしくは2人と非常に少なかった。これは何が原因かといいますと、指導者がよかったのか、あるいは皆さんの防災の意識が高まっていたか、いずれにしても結果がよければすべていいのでしょうけれども、有事の際、自分の身を守る、家族を守ることが一番大事なのですよね。今回は、そういうことを踏まえまして、土砂災害に関する講演会を予定しております。来られる講師の方は、かつて県庁で砂防課におられた、専門の知識を有する職員の方です。NPOを今、組織しておりますけれども、そこから来ていただいて、講演をしていただく予定でございます。第1部が今、言いましたような講演会。そして、防災士の方から、この辺りに配りました防災手帳に関する教養について話をさせていただく予定です。それから、第2部といたしまして、最近、皆さん笑う機会が少ないものですから、防災の漫談をいたします。あまり聞いたことがないと思うのですが、おおむね40分くらいやりまして、笑いながら記憶を新たにさせていただく。そんな企画をしております。日にちは先ほど申しました10月15日(土)午後2時から、会場の関係で定員は100名でございます。

山を管轄する、新関、山の手、金津、この3つのコミュニティ協議会につきましては、人数は制限いたしません。大勢の方から来ていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。そして、それ以外の8つのコミュニティ協議会につきましては100名という限度がありますので、各コミュニティ協議会から5名程度、出ていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。ただ、人数がオーバーした場合は、調整していただくこともあります。

なお、山の手と新関のほうには、回覧という形式で、私が文書を持って行って、会長にお願いしてきました。そんな関係で回覧が行くと思いますし、1人でも多くの方から

来ていただきたいと思います。それ以外のコミュニティ協議会の会長につきましては、本日各コミュニティ協議会自治協委員に会長宛の文書をお配りしました。特に回覧の文書は出しませんが、会長のほうからいろいろな方法で希望者を募っていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

会場の関係もごございますので、10月5日までにうちのコミュニティ協議会は何名ですよということを教えていただければと考えております。疑問等がありましたらいつでもお聞きしますので、よろしくお願いいたします。

(金子会長)

ありがとうございました。では、続けて、第3部会花水部会長お願いします。

(花水委員)

第3部会今期は、A k i h a おとな大学で、2つのプランを計画していました。1つが、里山トレッキング、もう1つがもち麦クッキングということで、先ほど、坂口委員から説明があったように、里山トレッキングは10月16日(日)1時半から文化会館におきまして、以前、この委員であった本田さんから講師として、秋葉区の歴史の講座を予定しています。9月18日号の区だよりで募集をかけさせてもらって、定員が40名です。同じく里山のほうで11月13日にトレッキングということで、こちらが10月2日の区だよりに募集を出します。定員が少なめですが15人ということで、今、コース等で里山ガイドと打ち合わせ中です。

もう1つのほうが、もち麦クッキング。前回、委員の皆さんに踊っていただきまして、ありがとうございました。大変好評いただいたようで、8月3日に食材が発送になりました。それぞれ30人の定員のところ27組でした。アンケートも同時に出して、その結果として、野菜の運搬がまずかったかなというような意見がありました。夏野菜が取れるようで、皆さん各自お持ちという方もいらっしゃったのです。そちらのほう新鮮だったというような意見や、調味料や卵は各自で用意だったのですが、調味料も食材に入れてほしかったといった意見を頂きました。また、動画を配信したのですが、その動画には皆さんが映っております。ご覧になっていただいていたか。けっこう楽しくて、アンケート結果でも、皆さんがすごく楽しそうに踊っている姿が良かったですというような意見もありました。ありがとうございました。

これは8月ですが、11月と2月、あと2回予定しております。もう献立メニューは決まっているのですが、また再度、広報等でお知らせしますので、ぜひ自治協議会メンバーの方々も、もしよければ応募して、作ってみてください。もち麦もプレゼントになりますので、よろしくお願いいたします。

(金子会長)

ありがとうございました。最後に、広報部会の加納部会長をお願いします。

(加納委員)

広報部会では、かわら版「あきはくはつものがたり」が9月発行予定になっておりますが、校正も済んでおりまして、あとは皆様のお手元に届くのを待つのみとなっております。先回もお話しさせてもらいましたが、今回は金子会長と区長の対談をはじめ、もち麦、クマ・イノシンなどの害獣から身を守るという四コママンガ仕立てになっておりますので、皆さんご期待ください。

それとFMにいつのあきはくはつものがたりにつきましては、9月14日、小柴委員、伊藤委員に出演をお願いしております。10月のコマーシャルも言いますと、10月12日、市橋委員、長谷川啓子委員に出演をお願いしておりますので、皆さんお聞き逃さないようお願いしたいと思っております。

(金子会長)

ありがとうございました。

それでは、一巡いたしましたので、全体、どちらの部会でもけっこうですけども、皆様のほうからご意見なり、ご質問なりございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。もち麦の動画は、すみません、私、まだ実は気がつかなかったんですけども、ずっと見られるようになっているのですか。

(花水委員)

ずっと見られます。大丈夫です。

(金子会長)

では、まだまだ私のようにうっかりしてご覧になっていない方はぜひ。

(花水委員)

見てください。

(金子会長)

区長、見られましたか。

(区 長)

まだ見ていないです。

(金子会長)

皆さん見ましょう。出ていると言われると気になりますよね。変な動きをしていないかとか、確認しないといけないので。

何かございますか。

(渡邊委員)

もち麦に応募させて頂きまして、子どもたちはとうもろこしと一緒に炊いたご飯をうまいと言いながら3杯食べました。以上です、すみません。

(金子会長)

ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。よろしいですか。ほかにないようであれば、以上で各部会からの活動報告は終わりとさせていただきます。

次に、1点、教育懇談会の開催についてということで、皆さんもご存じのとおりかと思えますけれども、古侯副区長からご案内を頂けるということで、お願いします。

(古侯副区長)

皆さんこんにちは。副区長兼地域総務課長の古侯です。

本日は、冒頭に会長から、これから将来像を見据えた地域経営がかぎというお話がありましたけれども、私たちの将来を担う子どもたち。その子どもたちの社会性や課題解決能力を養って、地域への愛着を深められるよう、私たちの学習の機会として、今年度の教育懇談会を企画させていただきました。お手元の資料、すでにご存じかと思いますが、7月29日付のご案内の文書でございます。下のほうにございますように、8月31日1時半から秋葉区文化会館を会場に開催いたします。現在、100人以上の参加申し込みを頂いております。ありがとうございます。内容的には、当日、副市長があいさつに来られて、時間の許す限り、見学もしていきたいというお話ももらっています。第1部講演会では、文部科学省のコミュニティ・スクールマイスターの小西先生。山口県の先生ですがお招きしまして、ご講演いただいた後、第2部ではグループワークを開催いたします。非常に45分では足りないのかもしれませんが、実のある、また内容については私どもも大変期待しているところでございます。一応、まだこの通知をまた改めてご覧になって、さらに参加申し込みというようなお話がございましたら、地域総務課ないし教育支援センターのほうへお話してください。

簡単ではございますが、以上です。

(金子会長)

古侯副区長、ありがとうございました。

ただいまの件について、何かご質問等ございましたら、どうぞお願いします。特にないでしょうか。ご都合よければ、ぜひご出席いただきたいと思えます。

ほかになかこの場で、せっかくですので共有したい事項等ございましたら、どうぞ共有していただけてっこうですが、何かお持ちの方いらっしゃいますか。

(青木委員)

大型獣の出没に対する職員の対応がよかったということで、地域からは称賛の声が上がっているということを皆さんに1点、披露したいと思います。大型獣クマにつきましては、6月11日、金津のビジターセンターの近くで目撃されたということから踏まえて、7月約1か月間に6件のクマの目撃情報があったのです。それはほとんど金津、朝日、割町のこの金津地区なのです。それとはまた別に、金津に五泉との境界付近に今、イノシシがいるのですよね。昨年からいるのです。昨年は8頭いたのですけれども、1頭捕獲、1頭は交通事故ということで、多分その後、姿が見えなかったのですよね。ところが7月ごろからまた出始めたのです。そして、今ちょうど、農作物がいろいろある。そこを荒らしていると。こんなことで地域の住民が困って、区民生活課のほうに相談しました。そうしましたら、8月14日(日)盆の最中にもかかわらず、高橋課長以下職員の方3名が現場に来られまして、課長がいろいろ陣頭指揮を執ってくれたのです。今はこうだ、こうしようということで、非常に心強い話を聞いていただいて、わなをどうするとか、こと細かくいろいろ指導いただいたということで、せっかくの休みで、ましてや盆の中、課長以下来ていただいたということで、非常にうれしかったということで、私を含め、地域の人もよろこんでおりますので、また、皆さん一旦ご披露いたします。

(金子会長)

ありがとうございます。クマに罪はありませんが、上手に共生したいところですよ。ほかいかがでしょうか、何かございますか。

(長谷川(啓)委員)

にいつまつりで自治協議会として松坂を踊られたと思うのですけれども私は、16日は出るつもりだったのですが17日は行けなくて、参加できなかったのも、ぜひ参加された方の楽しかったことを聞かせていただきたい。会長お願いします。

(金子会長)

私も委員と同じパターンで、16日は出るつもりでいたのですが、17日は予定が入っていたので参加できませんでした。結果何人が出られたのでしょうかね。

(長谷川(啓)委員)

では、小山さん教えてください。

(小山委員)

前々日くらいにYouTubeを見て、松坂踊りを練習しまして、手は分かったのですけれども、足が動かなかったのですけれども、今回出られた蓮沼さんから先頭に立ってもらい、その後に、鈴木さんの後ろにくっついていたのですけれども、まねをしてい

たら踊れました。意外と 45 分の踊りだったのですけれども、非常に楽しく、うちの町内の和友会なども隣に踊っていたので、参加人数は少なかったですけれども、和気あいあいと、天候も暑くなく、寒くなく、ちょうどいいくらいで、大変いい企画だったと思っております。もう少し、せっかく自治協議会が出るので、もう少し人数がたくさんいれば、もっと盛り上がったかなと思っていました。私も初めて踊らせてもらいました、面白かったです。

(加納委員)

私も実は踊らせていただきました。2年前にちょこっと練習させてもらって、素人みたいなものだったのですけれども、蓮沼先生のおかげで、公園のところで5分の手厚い指導がありまして、コツを教えてくださいから、すぐ覚えられました。今までの参加ですとくるっと回るところで、後ろの人と目が合ったりして恥ずかしかったのですが、今回はそれもなくて、とても楽しく松坂を踊ることができたかと思います。私も前日、Y o u T u b e で踊りを見たのですが、さっぱり足が分からないのです。手の動きも定かじゃなかったですし、そのときの事務局の友坂さんがおっしゃった言葉がとても印象的でした。今までですと、3、4列になって踊っていましたが、今年は何と1列行進なのです。2040年代の先取りかねと。そういう言葉が聞こえました。ぜひこのポロシャツを着て、参加しましたので、来年度は皆さんで踊ったらもっと楽しいだろうなと思いました。ぜひ参加しましょう。

(金子会長)

蓮沼先生は、何か一言ありますか。

(蓮沼委員)

私も新潟県人ではないのですが、こちらに来てもう30数年たちまして、新津松坂をもう20数年くらい踊っております。今は踊りのほうではなくて、子どもたちの笛太鼓を教えたり、松坂が終わってから神楽舞で私は太鼓を叩くのですが、そちらのほうをやっている、踊りそのものは5、6年ぶりで踊りました。よく考えれば、小山さんが言うように足の動きから教えるべきだったなと思いました。ありがとうございました。

(長谷川(啓)委員)

では、発信元の長谷川は、その日、さみしく何をしていたかという、キッチンのテーブルの周りを1人で、お客様がお帰りになってから踊っていたのです。子どものときから新津市の小学生は、多分運動会で踊っている、もう勝手に体が動く。来年は私いないかもしれませんが、蓮沼先生のご指導を頂き、かっこよく踊りたいと思

ます。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

(金子会長)

長谷川委員、重要なトピックを思い出させていただき、ありがとうございました。先に講習会をしてしまうといいのかもしれませんが。そうすると皆さん、出たくなるのかもしれないですね。秋葉区自治協議会の委員である以上、新津松坂くらいは踊れなきやみみたいな、そういう空気を作るのも1つかと思いました。それと皆さん、意外とY o u T u b eをちゃんと活用されているのですね。私もだんだん近づいてくると不安になったので、Y o u T u b eを見たのですけれども、佐渡の民謡の会などが出しているものが一番踊りがくつきりと分かって見やすかったです。けっこう探したのですけれどもね。補足情報でした。

ほかに何か共有事項等ございますか。よろしいでしょうか。特にほかになければ、本日の本会議はこれで閉じさせていただきたいと思ひます。

4 閉会

(金子会長)

閉会のごあいさつは第3部会の荒井委員からお願いします。

(荒井委員)

いつもと違って、随分早く出番がきて、少し戸惑っております。このホールにひさしぶりに入って、今からもう7年くらい前だと思うのですけれども、このホールでニューイヤークンサートを開いておられて、そのときに新津混声合唱団がお招きを受けて、ここで歌わせていただいたことを思い出しました。それ以来、この金津の地区というのは、私にとってはいろいろ深いご縁があった地域になっておりまして、美術館でのボランティアとか、金津小学校の生徒さんたちとのつながりだとか、いろいろなことが思い出される、大変懐かしい、私にとっては一番深い縁のある地域だなと思つた次第です。

第7波と言われているコロナ禍の中で、大変厳しい、暑い8月が終わろうとしているのですけれども、そんな中で、この秋葉区の自治協議会のそれぞれの各部会の事業もこれから秋に向けて充実した活動が進められるのではないかと確信をしております。

少し個人的な話をさせていただいて恐縮ですけれども、先ほどから第3部会で実施しております、もち麦のレシピックッキングの話が随分出ておりましたが、実は個人的に参加させていただきました。悪戦苦闘の2時間でした。しかし、味のほうはともかく、成果品の出来はまあまあだったのではないかと自画自賛しているのですが、もちろんわが家の大切な妻の適切かつ厳しい指導があったおかげだろうと思ひました。我な

が楽しい時間を過ごすことができましたことをご報告したいと思います。これから、別メニューのレシピが2回続くわけでございます。どうぞ皆さん方も参加して、ご家族と一緒に楽しんでいただきたいと思いますと思います。

それにしても今回のプロモーションビデオの画像を見ていただくとお分かりのように、この委員会の皆さんのパフォーマンスが大変見事でした。特に長崎区長のすばらしいリズム感にあふれたパフォーマンスが見事でした。事務局にお願いします。このプロモーションビデオは、ぜひ永久保存で残していただきたいと思います。

それともう1つ、私の活動基盤であります文化振興の分野からご紹介をしておきたいと思えます。秋葉区の音楽協会と秋葉区文化会館が共催をいたしまして、11月20日(日)に3年ぶりとなります秋葉音楽祭を開催することになっております。コロナ禍で中段を余儀なくされてきたわけでございますけれども、今回は合唱や弦楽合奏、吹奏楽団、その他特別支援として今回、初めての出演となる、文化会館の専属合唱団でありますフォリエ、それから秋葉区の少年少女合唱団の赤い鳥の二つの合唱団が参加することになりました。それから、特別出演という形でそのほかの二つの団体の方々も出ていただきます。第2部といたしまして、ピアノとトランペット、パーカッション3人の女性音楽家の皆さんに出演していただきまして、ひさしぶりに楽しい演奏は聴いていただけないかと思っております。詳細はこれから間もなくポスター、チラシなどでお知らせをしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

簡単でございますが、閉会のあいさつとします。ありがとうございます。

(金子会長)

荒井委員、大変ありがとうございました。まだまだコロナ禍が続いて、むしろ拡大していると言われる中ですが、それぞれ皆さん、各団体の皆様方ができることは何かと模索して、いつでもできる状態にしていたからこそ、今、このようにさまざまな活動が復活してきている、新しいものが生まれているということではないかというふうに、非常に感銘を受けました。

それでは、以上をもちまして、閉会です。

進行は事務局にお返ししたいと思います。皆さんお疲れさまでした。